

- 子ども主体の学び合いを通して、「自ら学び、考える力を伸ばす授業」づくりを目指す5年目となる研究である。毎年の検証を積み重ね年々研究の深まりと広がりが感じられる。特に今年度は、ともに思考することのできる学級づくりの重要性から、全学級で QJ アンケートを活用し、一人一人の気持ちに寄り添った学び合う学級づくりを進めてきたことが伝わってくる。
- 本論編に見られる関連する資料編のページ表記は、研究物のまとめ方として大切なことである。日々の実践の裏付けとなる豊富な資料が、本研究にとってどのようにつながっていくかが分かりやすい。また、「学力向上実践事項についての評価」等、教師自身が実践を振り返り、指導に生かしている点は、参考にしたい。
- 研究を通して明らかになった課題について、次年度を待たずに3学期から新たな手立てを講じ実践していこうとする第二小学校全体の姿勢が実にすばらしい。今後も、児童主体の学び合いの姿の具現化をめざし、他校に発信していただくことに期待したい。